

地域	庄内	団体名	地縁団体 松ヶ岡開墾場
----	----	-----	-------------

活動地 鶴岡市羽黒町松ヶ岡地内

団体紹介

松ヶ岡開墾場は、明治の初めに旧庄内藩士たちが開墾した土地で、開墾当初は一面の桑園でした。現在は水田や庄内柿・桃の栽培などの農業を営みながら、日本遺産でもあり国指定史跡でもある地域内の松や桜並木の保全に努めるとともに、開墾場内の森林・里山を守り、森林の大切さを伝える活動を行っている構成員 54戸の地域組織です。

活動内容

- 開催日：令和3年4月7日（水）、桜幼木の雪囲いはずし。2人
- 開催日：令和3年5月30日（日）、7月4日（日）、8月1日（日）、9月19日（日）、経塚山周辺・ミズバショウ群生地周辺・地内山林の下草刈り。延72人
- 開催日：令和3年9月12日（日）、11月14日（日）、ミズバショウ群生地・同群生地裏の下草刈り、集落内竹林の竹伐採。延24人
- 開催日：令和3年11月14日（日）、桜幼木の雪囲い。2人
- 開催日：令和3年11月27日（土）、樹木医・梅津勘一氏による森林整備の方法についての講話と実地研修。12人



活動を行っての感想

- ミズバショウ群生地の保全活動を計画していたが、群生地に流れ込む水路が土砂でふさがれたために、その活動ができなかった（専門業者による水路の回復工事が必要）。
- 他の里山林保全活動は計画どおり実施。研修会での森林整備の講話や実地研修も有益だった。
- 開墾150年記念とからめてみどり環境税による里山林保全の活動もマスコミに取上げてもらう予定だったが、機会を失ってできなかったことが反省点である。